HP 用オプトアウト様式

研究課題名	№. 433	日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したナショナルデータベースの作成
研究期間	本研究の実施許可日～10 年間 （当院では、実施許可日より 2033 年 3 月 31 日まで）	
研究目的	大腿骨近位部骨折の治療経過に関する大規模データベースを作り上げ、地域、病院間、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討を行うことを目的とします。	
研究方法	対象範囲	2022 年 11 月～2032 年 3 月の間に当院整形外科において、大腿骨近位部骨折の治療を受けられた方を対象とします。手術を受けた方ばかりでなく、受けなかった方も対象となります。
	利用する情報等	患者基本情報、受傷前情報、受傷時情報、入退院時情報、入院日から 30 日目、120 日目、365 日目の情報
	個人情報の取扱い	カルテ ID 番号を、それとは別の研究用の番号に置き換えた上で管理し、患者さんが特定出来る情報(氏名・住所など)を削除した状態でデータを抽出して研究に使用いたします。
	利用方法	研究対象者のデータベースを作り上げ、日本脆弱性ネットワークのデータセンターへ送付し、大腿骨近位部骨折治療の有効な治療法や二次骨折予防対策を科学的に確立するために利用します。
	他機関への提供	完全に匿名化された上で、研究に必要な情報を日本脆弱性骨折ネットワークのデータセンターへ提出いたします。
倫理的配慮	特定個人を識別出来ないよう、匿名化のため新たに作成した患者番号を用いてデータを管理します。本研究終了(あるいは中止)後、5 年間はデータをデータセンター(日本脆弱性骨折ネットワーク)の責任下に保存されます。	
研究責任者	特定非営利活動法人　日本脆弱性骨折ネットワーク 理事　荒井秀典	

HP 用オプトアウト様式

担当者 問合せ先	高知赤十字病院　整形外科　第一整形外科部長　北岡　謙一 Tel　088-822-1201（代）

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。